



七つ星

6月号②

令和2年6月15日

清瀬市立清瀬第七小学校
校長 鈴木 竜二

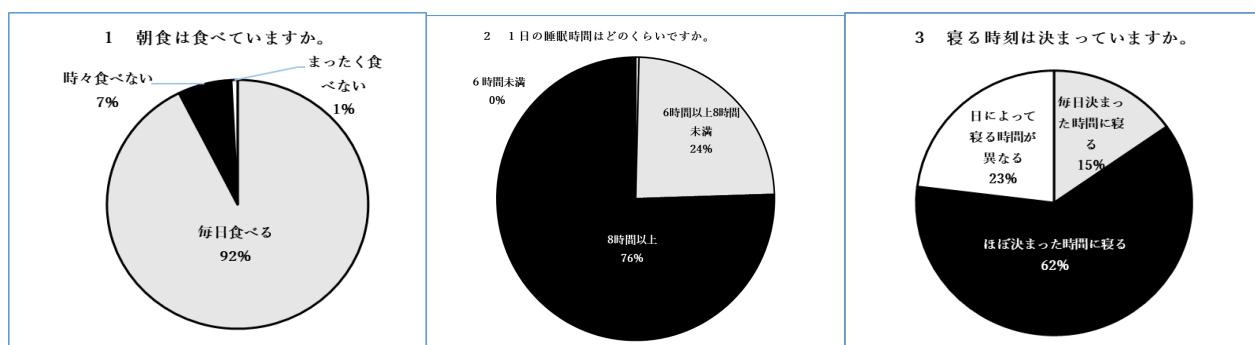
臨時休業期間中の生活アンケート（集計結果）について

東京アラートが解除され、休業要請も次のステップに移行しました。街の景色にも活気が戻ってきています。本校も本日から通常授業を再開いたしました。「新しい日常」を意識しながらも、「元の日常」のような学校の風景が戻ってきたことを大変うれしく思っています。

さて、臨時休業期間中に実施いたしました生活アンケートについて、以下の通り集計いたしましたのでお知らせいたします。低学年、けやき・ひのき学級の保護者の皆様には、回答にご協力いただきありがとうございます。結果を今後の教育活動を進める際の参考にさせていただきます。

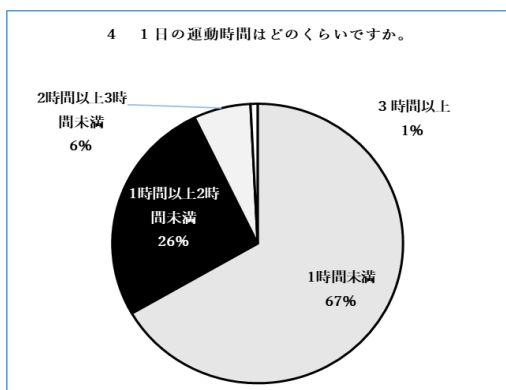
生活アンケート集計結果（回答数257、回答率85.7%）

1 生活の様子



長期休業中は、夜更かし等により生活のリズムが乱れがちになりますが、大半のお子さんが規則正しい生活を送っていたようです。分散登校期間中も登校時刻が遅くなる子も少なかったです。

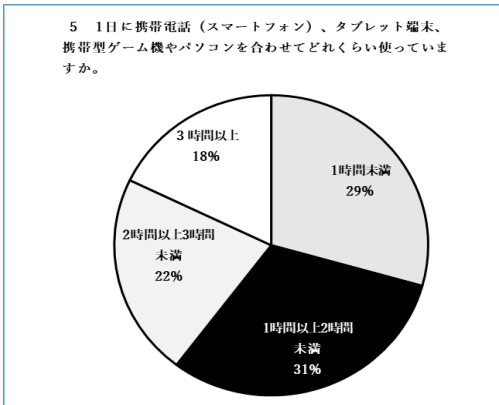
2 運動の様子



不要不急の外出を控えなければならない状況でしたので、やはり運動不足になるのは仕方がないことだと思います。

これからの季節、さらに運動に適さない環境になりますが、可能な範囲で体育の授業、外遊びを行い運動量の確保に努めます。ご家庭でも引き続き、縄跳びなどの取組を実践してください。

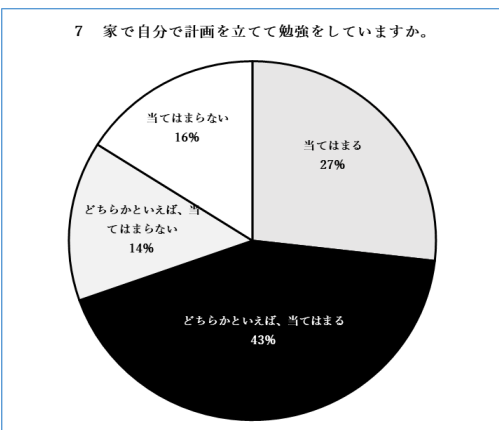
3 ICT機器等の利用について



保護者の皆様におかれましても、在宅勤務によりパソコンの使用は増えたことと思います。また、お子さんによってはオンラインでの習い事などもあり、休業前よりも利用時間が増えたことと思います。

今後もさらに増えることが予想されます。ご家庭において使い方についてのルールを改めて確認していただくとともに、定期的に画面から離れ、ストレッチや目を休ませるなど、健康管理にも取り組んでいただきたいと思います。

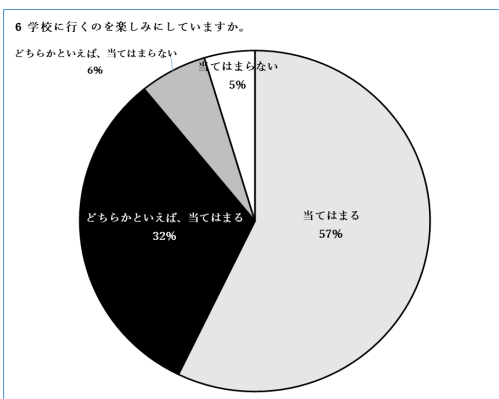
4 学習について



休業期間中の登校日には、課題を配布しましたが、5月からは時間割形式にすることで、より計画的に学習に取り組めるよう配慮いたしました。

7割の子供たちがおおむね計画的にできました。授業再開にあたって、個の取組の差が今後の学力差とならないよう、お子さんに応じて補充的な学習などにも取り組む予定であります。

5 これからの学校生活について



9割近くの子供たちが楽しみにしていること、うれしく思います。それとともに、子供たちの期待に応えられるよう努めていきます。

自由記述「学校が始まって、一番やりたいことは何ですか。」について、多かった回答は「学習」「友達との関わり」「運動」「給食」でした。

「友達との関わり」については、「休み時間に一緒に遊ぶこと。」が多かったです。また、クラス替え、転入などから「友達をつくること」という回答も多くみられました。

一方で、楽しみにしていないお子さんが1割ほどいます。休業期間中に外出することが嫌になったお子さん、そのほか様々な事情を抱えたお子さんもいらっしゃいます。一人一人のお子さんに合わせた登校支援等にも取り組んで参ります。

6 その他自由記述（休業期間中の困りごとなど）

期間中、学習、運動、お手伝い、飼育栽培、規則正しい生活の維持など、頑張ったことについて、たくさん記述がありました。

困ったことでは、外出できずに「友達と関われなかったこと」、「家庭内でのトラブルが増えたこと」という回答が多かったです。ほかには、運動不足から「夜眠れなかった」「イライラした」という回答がありました。授業再開で解消されることもあります。お困りごとなどありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。